

若者たちに職業観・勤労観の醸成を 第1回「キャリア教育アワード」が決定

経産省

経済産業省はこのたび、昨年8月に創設した「キャリア教育アワード」の第1回受賞企業を発表。最優秀賞には、パナソニック株式会社（大阪府門真市）が輝いた。

中学生「自分再発見」プロジェクト

横須賀商工会議所

小宮山審査委員長賞 同所は、横須賀市教育委員会や横須賀市には、横須賀商工会議所（神奈川県）が取り組む「中学生「自分再発見」プロジェクト」が発見された。職員とキャリア教育コーディネーターが、中学校の総合的な学習の時間を活用し、子どもたちの職業観・勤労観の醸成を目的とした教育プログラムを1年を通して実施している。具体的には、

整体師から指導を受ける中学生



マイタウンティーチャー（MTT）と呼ばれる地域の事業所で働く大人を派遣し、子ども

ジュニアエコノミーカーレッジ

会津若松商工会議所青年部

優秀賞には、会津若松商工会議所青年部の企画・製造・販売、福島の「ジュニアエコノミーカーレッジ」をはじめ、4件が選出された。

「ジュニアエコノミーカーレッジ」は、商売体験を通じた「起業教育プログラム」。1チーム5人で、会社の設



子どもたちが商品を販売する様子
※第1回キャリア教育アワード受賞

たちに自社の仕事を紹介しながら働くことについてディスカッションする授業プログラムなどを実施。また、職場体験の受け入れ先の開拓や、ビジネスマネーなどの研修支援も行っている。

当金の支払い、解散までの一連の企業活動体験する。また、1社当たり、株主10人から1000円ずつ計1万円を集め、さらにより大きな商売を行いたい場合には、銀行（開催団体）から1万円を借り入れ、最大2万円の元手で商売を始めることのできる仕組みを導入。加えて、それぞれが社長、財務部長などを務め、各自が役割と責任を持って会社を運営するシステムも構築するなど、実際の商いに沿ったカリキュラムを提供している。

キャリア教育アワード受賞 20110309001.html)を者の詳細は、ホームページ参照。問い合わせは、メティ・ゴ・ジップ / (03) 6363-0011・press/20110309001/ (201103) まで